

第9回 (令和8年7月) プログラミング技能検定試験 4級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

入力された文字が答えと合っているか判定し、結果を表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
漢字クイズ
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.jpg にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
「はなび」を漢字で入力してみよう
 - (4) 【フォーム】のブロックセット（テキスト・ボタン）を挿入しなさい。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。

<作成ページ例>

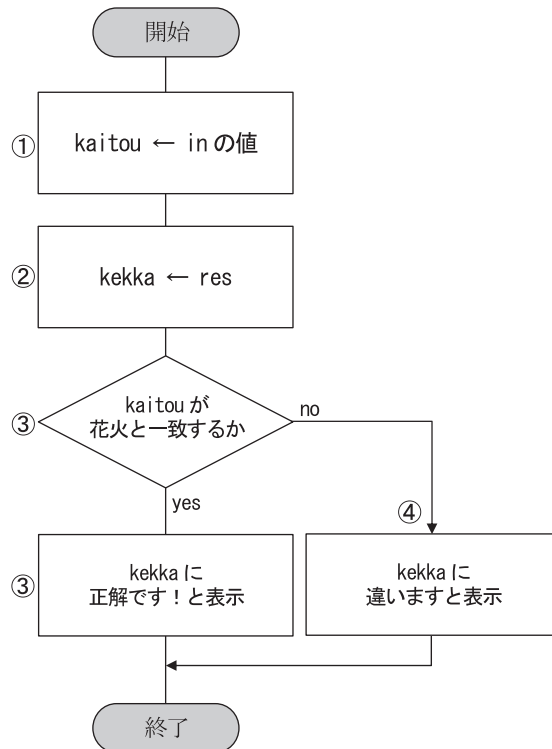


3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

- ・フォームのボタンが押されたら判定結果を表示する。
- ・フォームのテキスト (in) に入力された文字が答えと合っているかどうか判定する。（答え「花火」と一致した場合「正解です!」と表示し、一致しなかった場合「違います」と表示する。）
- ・表示先は2-(5)の位置とする。

<フローチャート>



- (1) 【スクリプト・関数】ブロックを挿入しなさい。
- (2) 【部品】内のブロックをすべて用いて、(1)の<function>ブロックの中に下記処理手順どおりに組み立てなさい。

■処理手順

- ① フォームのテキスト (in) の値を取得し、「kaitou」に設定する。
- ② 結果の文字を表示させる場所 (res) の情報を取得し、「kekka」に設定する。
- ③ もし「kaitou」が「花火」と一致した場合、「正解です!」の文字を「kekka」の場所に表示する。
- ④ それ以外の場合、「違います」の文字を「kekka」の場所に表示する。

第9回 (令和8年7月) プログラミング技能検定試験 3級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

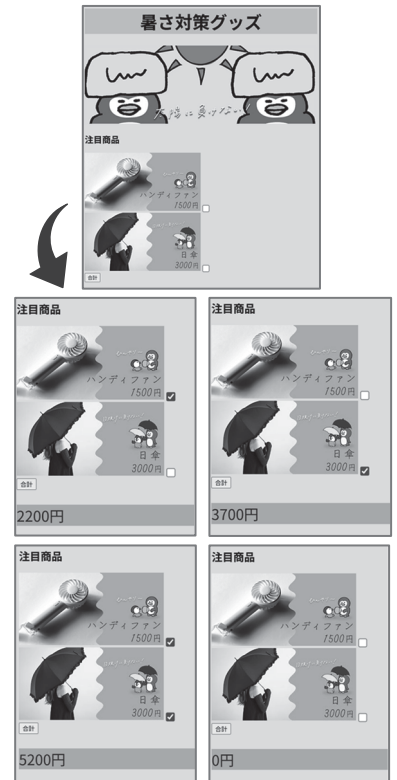
<前提>

選択された商品金額と送料を合計し、表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
暑さ対策グッズ
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.jpg にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。
注目商品
 - (4) 【フォーム】のブロックセット（チェックボックス・ボタン）を挿入しなさい。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id 名を res にしなさい。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

<作成ページ例>



[機能]

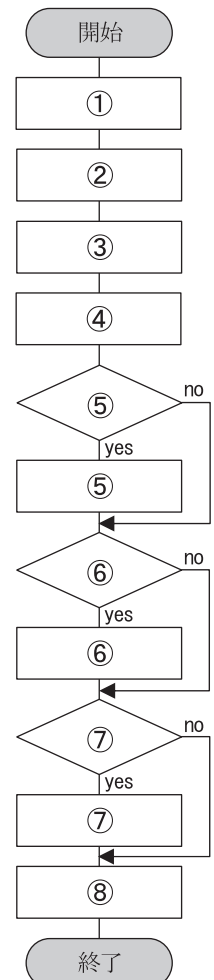
- ・フォームのチェックボックスでチェックされた項目の金額を合計し、送料を足して表示する。
- ・送料は700円、商品(ch1)は1500円、商品(ch2)は3000円とする。
- ・いずれもチェックされていない場合、送料は発生させない。
- ・合計金額を表示する。表示先は2-(5)の位置とする。

- (1) 【スクリプト・関数】ブロックを挿入しなさい。
- (2) 【部品】内のブロックをすべて用いて、(1)の<function>ブロックの中に下記処理手順どおりに組み立てなさい。下線部分の比較演算子は処理手順通りに設定すること。

■処理手順

- ① 変数 mono1 を宣言し、id (ch1) のチェック結果を取得し、代入
- ② 変数 mono2 を宣言し、id (ch2) のチェック結果を取得し、代入
- ③ 変数 kekka を宣言し、id (res) の場所を取得し代入
- ④ 変数 goukei を宣言し、0 を代入
- ⑤ mono1 が true の場合、goukei に 1500 を加算して代入
- ⑥ mono2 が true の場合、goukei に 3000 を加算して代入
- ⑦ goukei が 0 より大きい場合、goukei に 700 を加算して代入
- ⑧ kekka の場所にある HTML に以下の変数・文字列を結合して代入
goukei + 「円」

<フローチャート>



第9回 (令和8年7月) プログラミング技能検定試験 2級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

入力された番号から該当する入場時間を判定し、結果を表示させるページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

入場時間案内
 - (2) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.jpg にしなさい。
 - (3) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

整理番号によって入場時間が異なります
 - (4) 【フォーム】から<form>ブロックを選択・挿入し、その中に下記のブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - ① 【表示文字】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

あなたの番号
 - ② 【改行】ブロックを挿入しなさい。
 - ③ 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id名は no。
 - ④ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。valueは確認、onclickは関数名 che。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id名を res にしなさい。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[機能]

- ・フォームの数値入力欄 (no) に入力された値を整理番号とする。
- ・数値入力欄に1より小さい値が入力された状態で処理した場合「整理番号エラー」と表示する。
- ・整理番号を条件によって判定し、入場時間を表示する。

整理番号1～999番：「10時から入場可能」 整理番号1000～1999番：「11時から入場可能」
整理番号2000番以上：「午後からの入場になります」
- ・フォームのボタンが押されたら結果を表示する。表示先は2-(5)の位置とする。
- ・入力値は整数のみを想定。

<作成ページ例>

初期ページ

入場時間案内



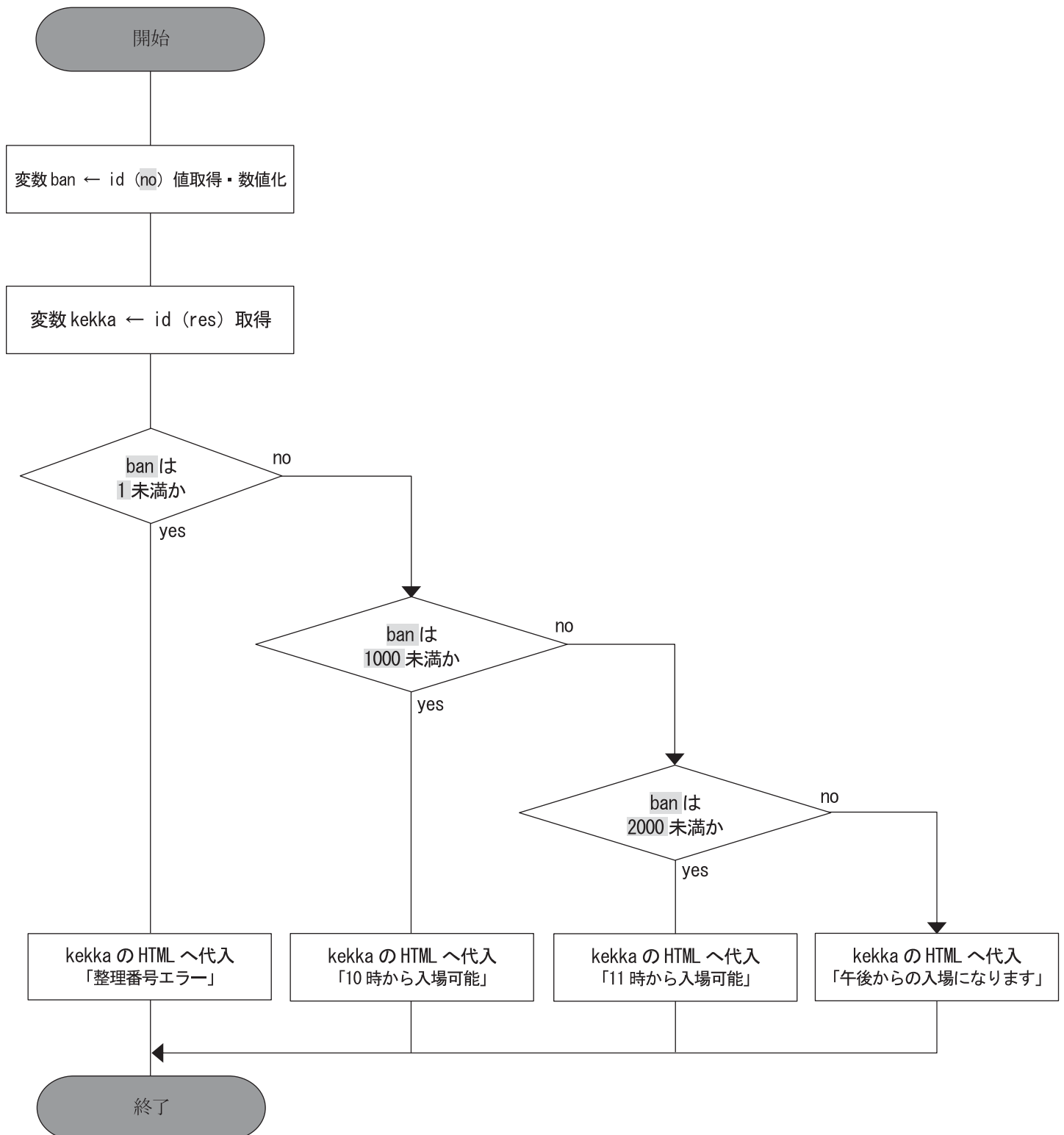
整理番号によって入場時間が異なります

あなたの番号

結果表示例

整理番号によって入場時間が異なります あなたの番号 0 確認 整理番号エラー	整理番号によって入場時間が異なります あなたの番号 999 確認 10時から入場可能
整理番号によって入場時間が異なります あなたの番号 1999 確認 11時から入場可能	整理番号によって入場時間が異なります あなたの番号 2000 確認 午後からの入場になります

- (1) 【スクリプト】・【関数】ブロックを挿入し、2ー(4)ー④で指定した関数名を入力しなさい。
- (2) 【部品】内から正しいブロックを選択し、(1)の関数ブロックの中に下記フローチャートどおりに組み立てなさい。条件式内の比較演算子は正しく動くように設定すること。



第9回 (令和8年7月) プログラミング技能検定試験 1級問題

<問題>

1. <作成ページ例>を参照し、<処理条件>に従って作成しなさい。網かけ部分は入力値とし、ブロック内に既に設定されているものはそのまま使用すること。
2. 試験時間は30分とし、解答が完了したら「保存」ボタンを押しなさい。

<前提>

大会出場条件チェックページを作成する。

<処理条件>

1. 【ページ】のブロックセットを挿入しなさい。
2. <body>ブロックの中に下記の(1)から順にブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - (1) 【見出し1】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

大会出場条件確認
 - (2) 【見出し2】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

出場可能か判定します
 - (3) 【画像】ブロックを挿入し、ファイル名を top.png にしなさい。
 - (4) 【フォーム】から<form>ブロックを選択・挿入し、その中に下記のブロックを挿入し、処理をしなさい。
 - ① 【表示文字】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

年齢
 - ② 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id名は age。
 - ③ 【表示文字】ブロックを挿入し、下記の文字を入力しなさい。

1分間に入力できる文字数
 - ④ 【フォーム】から数値入力欄のブロックを選択・挿入しなさい。id名は cou。
 - ⑤ 【フォーム】からボタンのブロックを選択・挿入しなさい。valueは確認、onclickは関数名 bt。
 - (5) 【段落】ブロックを挿入し、id名を res にしなさい。
3. <head>ブロックの中の<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css">ブロックの下に、下記の指示通りブロックを挿入し、処理をしなさい。

[アプリ仕様書]

● 概要

Web ページに出場条件確認機能を実装する。画面の入力欄に入力された年齢と1分間に入力できる文字数をもとに、大会に出場可能かどうかチェックし結果表示する。

● 条件

- ・ 大会には、年齢が15歳以上かつ1分間に入力できる文字数が100文字以上の人のみ出場可能。
- ・ 各入力欄の値は、数値変換を行って処理。
- ・ 年齢欄にマイナスの値が入力された状態で処理した場合、1分間に入力できる文字数欄の入力値にかかわらず「年齢エラー」と表示。
- ・ 1分間に入力できる文字数欄にマイナスの値が入力された状態で処理した場合、「文字数エラー」と表示。
- ・ 年齢が15歳未満の場合、1分間に入力できる文字数にかかわらず「年齢が未達」と表示。
- ・ 1分間に入力できる文字数が100文字に達していない場合、「文字数が未達」と表示。
- ・ 年齢が15歳以上で1分間に入力できる文字数が100文字以上の場合、「出場可能」と表示。
- ・ 入力値は整数のみを想定し、空白は想定しない。複数回ボタンが押下されることを想定。
- ・ 結果は段落(res)に表示。

● 検証値

入力(age)	入力(cou)	段落表示文字
-1	-1	年齢エラー
-1	0	年齢エラー
0	-1	文字数エラー
14	100	年齢が未達
14	99	年齢が未達
15	99	文字数が未達
15	100	出場可能

<作成ページ例>

初期ページ

大会出場条件確認

出場可能か判定します

タイピング大会

1

年齢 1分間に入力できる文字数

結果表示例

大会出場条件確認

出場可能か判定します

タイピング大会

1

年齢 1分間に入力できる文字数

出場可能

- (1) 【スクリプト】・【関数】ブロックを挿入し、2ー(4)ー⑤で指定した関数名を入力しなさい。
- (2) 下記変数定義・論理部フローチャートを基にブロックを組み立てなさい。【部品】内から正しいブロックを選択し、組み立て、条件式内の比較演算子は正しく動くように設定すること。

<変数定義>

nen : 数値入力欄 (age) に入力された値を格納
moji : 数値入力欄 (cou) に入力された値を格納
kekka : 結果を表示するための場所 (res) を取得

<論理部フローチャート>

